

一方、総合診療科専門医に関しては、県内既存の家庭医療専門医研修プログラムの総合診療専門医プログラムへの発展、県内複数プログラムの一化による負担軽減等の取組みが聞かれた。また、すでに専門医研修に関するネットワーク等が構築されている都道府県においても、それらをベースにして検討が進められていた。

全体的に、自治医科大学は総合診療専門医もしくは内科専門医、地域枠は義務年限における配置先の考え方によって、どの診療科でも選択できる場合、総合診療科もしくは内科専門医の取得が勧められているといった状況であった。

D. 考察

へき地を含めた地域医療に従事する医師の確保にあたっては、地域医療再生基金を活用した地域枠の設置、中学・高校・予備校生を対象とした情報提供や体験型イベントの開催等により、一定の成果は得られていると思われる。そして、へき地医療に関する卒前教育においても、前述したようにへき地を含めた地域医療教育は各都道府県や大学において活発に行われるようになった。

しかし、新たな専門医の仕組みに対応したキャリアパスに関しては、新たな専門医の仕組み、とくに総合診療科専門医制度の制度設計が定まっていないこと、地域枠卒業医師や自治医科大学卒業医師が派遣される医療機関において各科の指導医確保が困難であること、とくに自治医科大学卒業医師に関しては義務年限内の派遣先がへき地を中心とするため、専門医の取得は総合診療科等の限定した診療科に留まること等の課題が挙げられている。

また、地域枠卒業医師は義務年限内で各科専門医を取得できるような義務猶予期間を設ける等により、専門医取得への対応は行いうる半面、自治医科大学卒業医師と異なり、派遣先の医療機関を決定する人事権が各医局である場合が多い。そのため、地域のニーズに対応した医師の派遣ではなく、医局のニーズや専門医の取得といった医師個人のニーズに対応したキャリアパスになってしまう懸念がある。

へき地で勤務する地域枠や自治医科大学卒業医師のキャリアパスに関しては、都道府県は引き続き新たな専門医の仕組みに関する情報、とくに専門医の更新や、総合診療専門医の制度設計に関する情報収集に努めつつ、それ以上に、派遣先となりうる地域から求められ

る医療とは何か、という視点を基に地域医療支援センターやへき地医療支援機構、そして当事者である地域枠や自治医科大学卒業医師との協議・対話を重ね、義務年限後も都道府県内に定着するようなキャリアパスを構築することが期待される。

へき地保健医療対策検討会に必要とされる資料作成

A. 研究目的

前回のへき地保健医療対策検討会では、全国へき地医療支援機構等連絡会議等が盛り込まれた第11次へき地保健医療対策検討会報告書が出され、その後、国が示した策定指針に基づき、各都道府県にて第11次へき地保健医療計画が策定された。その第11次へき地保健医療計画は平成27年度で終了するため、今後の第12次へき地保健医療計画策定の検討に資することを目的に、平成26年8月から開催された。

そこで、現在行っている研究に加え、今までに行った「都道府県へき地保健医療計画策定支援とその実施に関する研究（平成22年度～23年度）」、「第11次都道府県へき地保健医療計画の実行支援とその評価に関する研究（平成24年度～25年度）」の研究成果を用いて、第11次へき地保健医療計画で解消しなかった課題や新たな課題、今後のへき地保健医療対策の方向性等について取りまとめ、へき地保健医療対策検討会が必要とする資料の作成・報告を行った。

B. 研究方法

へき地保健医療対策検討会で報告するため、「都道府県へき地保健医療計画策定支援とその実施に関する研究（平成22年度～23年度）」と「第11次都道府県へき地保健医療計画の実行支援とその評価に関する研究（平成24年度～25年度）」の両研究に関する資料と、全国へき地医療支援機構等連絡会議に関する報告資料を作成した。

4年度にわたる研究成果に関する報告では、研究班が行った都道府県を対象としたへき地保健医療に関する調査や都道府県個別訪問、そして全国へき地医療支援機構等連絡会議でのグループワークの支援等を通じて、都道府県のへき地保健医療に対する取組の変化や未だ残る課題等を報告資料として取りまとめた。

全国へき地医療支援機構等連絡会議に関する報告では、同会議が開催されるまでの経緯や第1回から第5回までの全国へき地医療支援機構等連絡会議のグループワークの振り返り、そして、第6回全国へき地医療支援機構等連絡会議で行ったグループワークで出された都道府県の意見等を基に報告資料を作成した。

C. 研究成果

へき地保健医療対策検討会は、第1回が平成26年8

月8日に開催され、平成27年3月30日の第4回目で終了した。へき地保健医療対策検討会の座長は当研究班の研究代表者である梶井英治が務め、検討会の構成員として同じく研究班の前田隆浩、澤田努が参加した。

へき地保健医療対策検討会のうち、第1回と第3回には、当研究班の森田喜紀が参考人として参加した。第1回へき地保健医療対策検討会では、平成22～23年度に行った「都道府県へき地保健医療計画策定支援とその実施に関する研究」と、平成24～25年度に行った「第11次都道府県へき地保健医療計画の実行支援とその評価に関する研究」について取りまとめたものを報告した（資料7-1）。第3回へき地保健医療対策検討会では、平成26年度に行われた全国へき地医療支援機構等連絡会議について報告した（資料7-2）。また、第3回へき地保健医療対策検討会では、当研究班の分担研究者でもある澤田構成員から、医師のキャリア形成において地域医療支援センターとへき地医療支援機構の果たす役割について報告した（資料7-3）。

D. 考察

第1回へき地保健医療対策検討会では、「都道府県へき地保健医療計画策定支援とその実施に関する研究（平成22年度～23年度）」と「第11次都道府県へき地保健医療計画の実行支援とその評価に関する研究（平成24年度～25年度）」を取りまとめたものを報告し、第11次へき地保健医療計画に関する都道府県の実行状況や新たな課題等について示した。第3回へき地保健医療対策検討会では、平成26年度に行われた全国へき地医療支援機構等連絡会議について報告を行い、同会議の意義や集約した意見等を示した。これらの報告を行ったことで、へき地保健医療対策検討会で行われた議論の深化に貢献できた。

E. 結論

第11次へき地保健医療計画により、へき地医療支援機構の役割強化や、へき地医療拠点病院の指定増加等が行われ、へき地診療所に対する代診医派遣や医師派遣といった診療支援体制の充実へと繋がった。そして、へき地医療拠点病院の慢性的な医師不足といった課題に対して、へき地要件で指定された社会医療法人との連携や、県独自の病院間や病診間の支援（玉突き支援等）等、重層的な診療支援体制を構築する都道府県もみられている。

また、へき地医療を担う人材育成に関しては、へき地を含めた地域医療に関する卒前教育の充実、都道府県や地域医療支援センターによる地域卒業医師のキャリアパスの作成、そして自治医科大学卒業医師のキャリア支援ならびに義務年限終了後の定着率向上を目的とした制度設計等が行われるようになった。新たな専門医の仕組みも考慮した義務年限内のキャリアパスの作成等、継続する課題も残ってはいるものの、今後、自治医科大学卒業医師に加えて地域卒業医師がへき地医療拠点病院やへき地診療所で勤務することで、より安定したへき地医療提供体制の構築に繋がることが期待される。

へき地医療における歯科医療、看護、薬剤師の役割に関しては、第11次へき地保健医療計画で新たに取組まれた部分もあったが、取組みとしては不十分な部分もあったと思われる。とくに、へき地における地域包括ケアシステムの構築に際しては、限られた医療資源の活用や、不足する医療資源に対する支援等が求められるため、県と市町村、庁内の担当者間での連携等が引き続き必要と思われた。

平成30年度より、へき地保健医療対策は医療計画、へき地保健医療体制整備指針の下で行われる。無医地区の数は年々減少しているが、へき地での医師の高齢化による医療機関の閉鎖や、公共交通機関の廃止等により、再び増加する可能性もある。そのため、へき地保健医療対策が、地域医療構想や医療計画といった大枠の中で薄まることのないよう、取組みが継続されるようにしなければならない。そのためには、本研究班で行ってきた、へき地医療支援機構等連絡会議グループワーク等の都道府県全体に対するフォローアップや情報共有の場の設置や、研究班が直接行った都道府県個別訪問といった個々へのフォローアップや情報提供体制が重要だと考えられた。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

1. 論文発表

・森田喜紀，梶井英治．第11次へき地保健医療計画の検証．社会保険旬報．2607：16-23，2015．

2. 学会発表

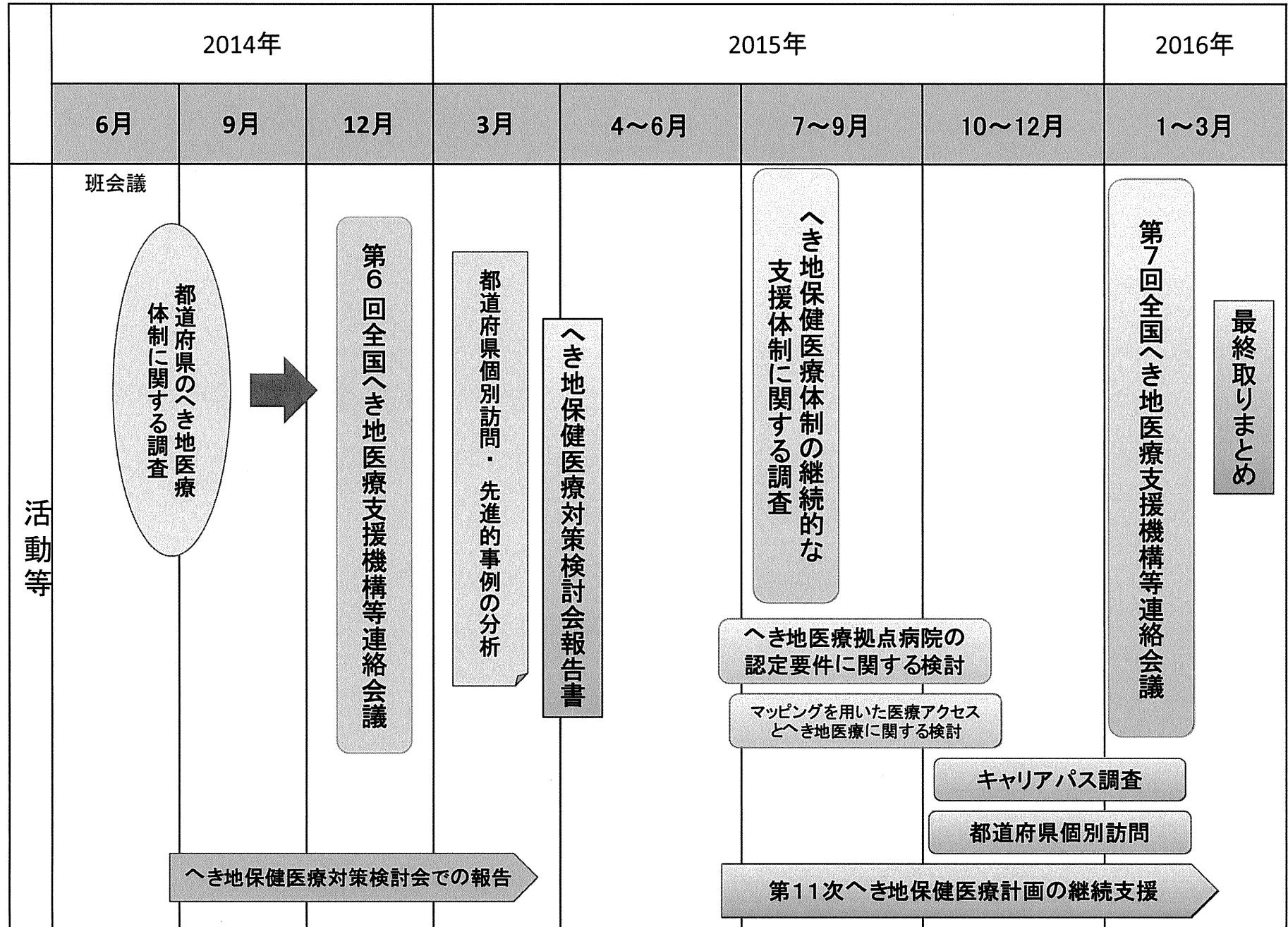
・森田喜紀，神田健史，梶井英治；地域医療のコンピテンシーとしての総合診療医とはなにか？～研究班の活動を振り返って～・第5回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会；2014

・森田喜紀，古城隆雄，神田健史，梶井英治；第11次へき地保健医療計画を実行する際の促進・阻害因子ならびに今後のへき地保健医療対策の方向性・第54回全国国保地域医療学会；2014

H. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし

図1 研究全体のスケジュール



【資料1】 都道府県のへき地医療体制に関する調査

- (1-1) 都道府県のへき地医療体制に関する調査 調査用紙
- (1-2) 都道府県のへき地医療体制に関する調査 集計結果概要

平成 26 年度 都道府県のへき地医療体制に関する調査

回答は添付の Excel ファイルに入力してください。はじめに都道府県名を記載してください。特に断りのない限り平成 26 年 4 月 30 日現在の状況を入力してください。文末に【PD】とある設問は、プルダウン（表示される選択肢から回答を選ぶ方式）で入力し、それ以外の設問は、文、数値等を欄内に自由に入力してください。なお、設問中のへき地診療所とは、へき地保健医療対策等実施要綱にあるへき地診療所を指し、国民健康保険直営診療所を含みます。

また、本調査内容は厚生労働省が行った平成 25 年度のへき地医療現況調査と調査内容が重複している部分もあります。本調査は平成 26 年 4 月 30 日時点の状況を把握することを目的としていますが、回答内容に変わりがないようでしたら、各都道府県の判断でへき地医療現況調査と同様の回答をしていただいても構いません。

1. 都道府県の取組について

第 11 次へき地保健医療計画策定の有無

- (1) 医療計画とは別に第 11 次へき地保健医療計画を策定した都道府県は○を、策定しなかった都道府県は×を選択してください。【PD】

第 11 次へき地保健医療計画を策定しなかった理由

- (2) (1) で×を選択した都道府県は、策定しなかった理由等を記載してください。

へき地保健医療対策に関する協議会の参加者構成

- (3) へき地保健医療対策に関する協議会に参加している場合は○を、参加していない場合は×を、以下のそれぞれの選択肢について選択してください（⑬その他は、参加者を記載してください）。【PD】

- ①都道府県医師会関係者 ②郡市医師会関係者 ③地元大学関係者
 ④へき地医療拠点病院関係者 ⑤へき地診療所関係者 ⑥看護協会関係者
 ⑦歯科医師会関係者 ⑧薬剤師会関係者 ⑨へき地医療支援機構専任担当官
 ⑩都道府県担当者 ⑪市町村担当者 ⑫へき地医療に関連する住民団体等
 ⑬その他（ ）

へき地保健医療対策に関する協議会の開催の有無

- (4) 平成 25 年度にへき地保健医療対策に関する協議会を開催した回数を記載してください。

へき地保健医療対策に関する協議会と第 11 次へき地保健医療計画の把握

- (5) へき地保健医療対策に関する協議会で第 11 次へき地保健医療計画にあげられている個別事業の進捗状況を把握していれば○を、把握していなければ×を選択してください。【PD】

第 11 次へき地保健医療計画の把握を行っている組織や会議

(6) (5) で×を選択した都道府県は、へき地保健医療対策に関する協議会以外で第11次へき地保健医療計画にあげられている個別事業の進捗状況を把握している組織、会議等の名称を記載してください。

2. へき地で勤務する医師の確保について

(へき地医療に従事する医師について)

へき地医療に従事する医師数調査の有無

(1) 都道府県のへき地医療に従事する医師数に関する調査が行われている場合は○を、行われていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療に従事する医師数調査の項目

(2) (1) で○を選択した都道府県は、その調査の項目について記載してください。

(1) で×を選択した都道府県、および、○を選択しても下記の項目についての調査結果を持っていない都道府県は、へき地診療所の医師や、へき地を有する市町村の医師等に調査をした上で(3)～(5)にご回答ください。

へき地医療に従事する医師の必要数

(3) 都道府県内のへき地医療に従事する医師は何人必要でしょうか。

へき地医療に従事する医師の不足数

(4) 現在、都道府県内のへき地医療に従事する医師はあと何人不足しているでしょうか。

へき地医療に従事する医師像

(5) 都道府県内のへき地医療に従事する医師として、どのような医師が必要でしょうか。

(へき地医療に従事する医師確保のための取組について)

へき地医療に従事する医師確保のための取組の有無

(6) へき地医療に従事する医師確保のための特別な取組を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療に従事する医師確保のための取組の内容

(7) (6) で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。

へき地医療に従事する医師確保のために必要な取組の有無

(8) へき地医療に従事する医師確保のために、今後特別な取組を行う必要がある場合は○を、必要がない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療に従事する医師確保のために必要な取組の内容

(9) (8) で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。

自治医科大学卒業医師数

(10) 都道府県出身の自治医科大学卒業医師の総数(義務終了後に限る)を記載してください。

自治医科大学卒業医師県内定着数

(11) (10)のうち都道府県内に留まっている医師数を記載してください。

自治医科大学卒業医師のへき地定着数

(12) (10)のうち都道府県内のへき地に留まっている医師数を記載してください。(へき地に留まっている医師とは、過疎地域自立促進特別措置法、山村振興法、離島振興法及び豪雪地帯対策特別措置法の指定地域で診療に従事している医師およびへき地診療所の医師を指し、へき地医療拠点病院に勤務している医師は含みません)

自治医科大学卒業医師のへき地医療支援従事医師数

(13) (10)のうち都道府県内のへき地医療拠点病院に勤務し、代診等実際にへき地医療を支援する業務に従事している医師数を記載してください。

へき地医療に従事することを条件とした地域枠の有無

(14) 大学医学部の入学制度に、都道府県内のへき地医療に従事することを条件とした地域枠がある場合は○を、地域枠はあるが卒業後のへき地医療従事を条件としていない場合は△を、地域枠がない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療に従事することを条件とした奨学金の有無

(15) へき地医療に従事することを条件とした医学生対象の奨学金制度がある場合は○を、奨学金制度はあるが、卒業後のへき地医療従事を条件としていない場合は△を、医学生を対象とした奨学金制度がない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療関連寄附講座等の有無

(16) 都道府県が、へき地医療に関連した寄附講座を大学医学部に設置している場合は○を、していない場合は×を選択してください。【PD】

自治医大卒業医師等の定着を図る取組・工夫の有無

(17) 都道府県の自治医科大学卒業医師およびへき地医療に従事することを条件にした地域枠卒業医師・奨学金貸与医師をへき地に定着させる取組・工夫がされている場合は○をされていない場合は×を選択してください。【PD】

自治医大卒業医師等の定着を図る取組・工夫の内容

(18) (17)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。

(へき地医療に従事するための動機付け支援等について)

大学と協同したへき地医療に従事する医師確保対策の有無

(19) 都道府県が、大学と協同してへき地医療に従事する医師確保対策を講じている場合は○を、講じていない場合は×を選択してください。【PD】

大学と協同したへき地医療に従事する医師確保対策の内容

(20) (19)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。

自治医科大学学生とのコミュニケーションの有無

(21) 自治医科大学学生に対し、都道府県が定期的(年1回以上)に直接接触し、コミュニケーションをとる機会を設けている場合は○を、設けていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療に従事することを条件とした地域枠学生・奨学生とのコミュニケーションの有無

- (22) へき地医療に従事することを条件とした地域枠学生・奨学生に対し、都道府県が定期的（年1回以上）に直接接し、コミュニケーションをとる機会を設けている場合は○を、設けていない場合は×を選択してください。【PD】

自治医科大学学生と地域枠学生・奨学生とのコミュニケーションの有無

- (23) 自治医科大学学生と、へき地医療に従事することを条件とした地域枠学生・奨学生が一同に会してコミュニケーションをとる機会を設けている場合は○を、設けていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療に従事することを条件とした地域枠学生・奨学生に対する特別なカリキュラムの有無

- (24) へき地医療に従事することを条件にした地域枠学生・奨学生に対し、都道府県が主催し、現場で行う地域医療夏期実習等の特別なカリキュラムを行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択してください。【PD】

地域医療実習等に対する財政的支援の有無

- (25) 自治医科大学学生およびへき地医療に従事することを条件にした地域枠学生・奨学生が行う地域医療夏期実習等の特別なカリキュラムに対し何らかの財政的支援を行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択してください。【PD】

へき地医療従事のメリットについてのPRの有無

- (26) へき地医療に従事する医師の募集に際し、公務員として身分が保証される等としてメリットをPRしている都道府県は○を、していない都道府県は×を選択してください。【PD】

中学生・高校生を対象とした啓発等の有無

- (27) 中学生・高校生を対象に、へき地医療の魅力を伝える啓発活動等を行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択してください。【PD】

(へき地医療を担う総合医の育成支援について)

全医学生に対するへき地保健医療教育の有無

- (28) 都道府県内の大学等、関連した大学で、全医学生に対してへき地保健医療に関する教育が行われている都道府県は○を、行われていない都道府県は×を選択してください。【PD】

全医学生がへき地医療現場を経験できるカリキュラムの有無

- (29) 都道府県内の大学等、関連した大学で、全医学生がへき地医療の現場を経験できるカリキュラムがある都道府県は○を、ない都道府県は×を選択してください。【PD】

3. へき地医療支援機構について

へき地医療支援機構の設置の有無

- (1) へき地医療支援機構が設置されている都道府県は○を、設置されていない都道府県は×を選択してください。【PD】

へき地医療支援機構の運営者

(2) へき地医療支援機構の運営者を記載してください。

へき地医療支援機構への代診医派遣依頼件数

(3) 平成25年度における、へき地医療支援機構に対するへき地診療所からの代診医派遣依頼総件数を記載してください。

へき地医療支援機構からの代診医派遣実績

(4) へき地医療支援機構が関与した、へき地診療所への代診医派遣実施回数と延べ派遣日数を記載してください。

へき地医療支援機構の評価、指導、公開の有無

(5) 都道府県がへき地医療支援機構を評価し、必要に応じて指導し、それらの情報を公開している場合は○を、していない場合は×を選択してください【PD】

へき地医療支援機構の評価、指導、公開の内容

(6) (5) で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。

へき地医療支援機構に対する支援の有無

(7) 都道府県がへき地医療支援機構に対し何らかの支援をしている場合は○を、支援していない場合は×を選択してください【PD】

へき地医療支援機構に対する支援の内容

(8) (7) で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。

(へき地医療支援機構の業務について)

派遣医師の登録業務実施の有無

(9) へき地医療支援機構が代診派遣医師の登録業務を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

派遣医師の登録業務を行っている組織、部署

(10) (9) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外で派遣医師の登録業務を行っている組織、部署の名称を記載してください。

医師派遣の調整等の業務実施の有無

(11) へき地医療支援機構が代診医師派遣の調整等の業務を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

医師派遣の調整等の業務を行っている組織、部署

(12) (11) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外で医師派遣の調整等の業務を行っている組織、部署の名称を記載してください。

へき地医療従事者に対する研修計画の作成等の業務実施の有無

(13) へき地医療支援機構がへき地医療従事者に対する研修計画の作成等の業務を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療従事者に対する研修計画の作成等の業務を行っている組織、部署

(14) (13) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外でへき地医療従事者に対する研修計画の作成等の業務を行っている組織、部署の名称を記載してください

い。

総合的診療支援事業の企画・調整等の業務実施の有無

- (15) へき地医療支援機構が総合的診療支援事業の企画・調整等の業務を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

総合的診療支援事業の企画・調整等の業務を行っている組織、部署

- (16) (15) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外で総合的診療支援事業の企画・調整等の業務を行っている組織、部署の名称を記載してください。

へき地医療拠点病院の活動の評価の有無

- (17) へき地医療支援機構がへき地医療拠点病院の活動の評価を定期的（年1回以上）に行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療拠点病院の活動の評価を行っている組織、部署

- (18) (17) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外でへき地医療拠点病院の活動の評価を定期的（年1回以上）に行っている組織、部署の名称を記載してください。

へき地医療拠点病院における巡回診療の実施に関する業務実施の有無

- (19) へき地医療支援機構がへき地医療拠点病院における巡回診療の実施に関する業務を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療拠点病院における巡回診療の実施に関する業務を行っている組織、部署

- (20) (19) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外でへき地医療拠点病院における巡回診療の実施に関する業務を行っている組織、部署の名称を記載してください。

地域医療分析実施の有無

- (21) へき地医療支援機構がへき地を中心とした地域医療分析を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

地域医療分析を行っている組織、部署

- (22) (21) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外でへき地を中心とした地域医療分析を行っている組織、部署の名称を記載してください。

へき地医療支援に従事している医師に対する研究費の配分に関する業務実施の有無

- (23) へき地医療支援機構がへき地医療支援に従事している医師に対する研究費の配分に関する業務を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療支援に従事している医師に対する研究費の配分に関する業務を行っている組織、部署

- (24) (23) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外でへき地医療支援に従事している医師に対する研究費の配分に関する業務を行っている組織、部署の名称を記載してください。

へき地保健医療情報システムの登録、更新、管理等の業務実施の有無

- (25) へき地医療支援機構がへき地保健医療情報システムの登録、更新、管理等の業務

を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地保健医療情報システムの登録、更新、管理等の業務を行っている組織、部署

(26) (25) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外でへき地保健医療情報システムの登録、更新、管理等の業務を行っている組織、部署の名称を記載してください。

へき地医療に従事する医師に対する就職斡旋等の業務実施の有無

(27) へき地医療支援機構がへき地医療に従事する医師に対する就職斡旋等の業務を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療に従事する医師に対する就職斡旋等の業務を行っている組織、部署

(28) (27) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外でへき地医療に従事する医師に対する就職斡旋等の業務を行っている組織、部署の名称を記載してください。

へき地医療に従事する医師のドクタープール機能の有無

(29) へき地医療支援機構がへき地医療に従事する医師のドクタープール機能を担っている場合は○を、担っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療に従事する医師のドクタープール機能を担っている組織、部署

(30) (29) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外でへき地医療に従事する医師のドクタープール機能を担っている組織、部署の名称を記載してください。

へき地医療に従事する医師のキャリアデザイン育成機能の有無

(31) へき地医療支援機構がへき地医療に従事する医師のキャリアデザイン育成機能を担っている場合は○を、担っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療に従事する医師のキャリアデザイン育成機能を担っている組織、部署

(32) (31) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外でへき地医療に従事する医師のキャリアデザイン育成機能を担っている組織、部署の名称を記載してください。

へき地保健医療対策に関する協議会での助言、調整等の業務実施の有無

(33) へき地医療支援機構がへき地保健医療対策に関する協議会での助言、調整等の業務を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地保健医療対策に関する協議会での助言、調整等の業務を行っている組織、部署

(34) (33) で×を選択した都道府県は、へき地医療支援機構以外でへき地保健医療対策に関する協議会での助言、調整等の業務を行っている組織、部署の名称を記載してください。

(専任担当官について)

専任担当官のへき地での診療経験の有無

(35) へき地医療支援機構の専任担当官にへき地での診療経験がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。【PD】

専任担当官のへき地での診療経験の内容

(36) (35) で○を選択した都道府県は、その診療経験の内容（勤務地、診療科、当該医療機関の常勤医数等）を記載して下さい。

専任担当官の勤続年数

(37) へき地医療支援機構の専任担当官としての勤続年数を記載してください。

専任担当官のへき地関連業務従事日数

(38) 平成 25 年度の実績において、へき地医療支援機構の専任担当官が一週間の中でへき地医療を支援する業務（(39) のア、イの業務）に従事している日数について、以下の選択肢（①～⑤）から選択してください。【PD】（※）

<選択肢>

① 0～1日 ② 1～2日 ③ 2～3日 ④ 3～4日 ⑤ 4～5日

専任担当官の業務別専従時間

(39) 平成 25 年度の実績において、へき地医療支援機構の専任担当官が下記の業務（ア～エ）それぞれについて、一週間の中で専従している日数を以下の選択肢（①～④）から選択してください。【PD】

<専任担当官の業務>

ア へき地診療所への代診

イ アの業務以外のへき地医療支援機構としての本来業務（代診医派遣調整、医療計画策定への関与、へき地医療従事者への研修計画立案、へき地医療現場の意見の調整・集約等）

ウ へき地医療拠点病院の業務（へき地医療拠点病院での診療等）

エ その他（ア～ウの業務以外の業務）

<選択肢>

① 0～1日 ② 1～2日 ③ 2～3日 ④ 3～4日

専任担当官の現地視察回数

(40) 平成 25 年度に、へき地医療支援機構の専任担当官が、へき地医療現場の現状把握等を目的として、へき地医療現場を訪問、視察した延べ回数を記載してください。

専任担当官の首長等との意見交換回数

(41) 平成 25 年度に、へき地医療支援機構の専任担当官が、へき地医療現場の市町村長等の首長等と意見交換を行った延べ回数を記載してください。）

専任担当官がへき地医療関連業務に専念するための工夫の有無

(42) へき地医療支援機構の専任担当官がへき地医療に関する業務に専念できるような工夫をしている場合は○を、していない場合は×を選択してください。【PD】

専任担当官がへき地医療関連業務に専念するための工夫の内容

(43) (42) で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。

4. へき地医療拠点病院について

へき地医療拠点病院の現状と実績

(1) 都道府県のすべてのへき地医療拠点病院について下記の項目について記載、選択してください。

ア 正式な施設名称

イ 開設者【PD】(以下の選択肢(①～⑦)から選択してください。)

①国立病院機構

②国立大学法人

③地方公共団体

④地方独立行政法人

⑤公的団体(日本赤十字社、社会福祉法人恩賜財団済生会、全国厚生連、社会福祉法人北海道社会事業協会)

⑥医療法人

⑦社会医療法人

ウ 所在地(〇〇県〇〇市)

エ 全病床数

オ 全医師数(非常勤医師は常勤換算して加算してください。)

カ 標準医師数(医療法施行規則第19条第1項に基づく標準医師数)

キ 一日平均入院患者数(平成25年度実績)

ク 一日平均外来患者数(平成25年度実績)

ケ 巡回診療の実施回数と延べ日数及び延べ受診患者数(平成25年度実績)

コ 医師派遣実施回数と延べ派遣日数(平成25年度実績)

サ 代診医派遣実施回数と延べ派遣日数(平成25年度実績)

シ 初期臨床研修医数(平成25年度実績)(通年である場合以外は常勤換算と同じ手法で加算してください。)

ス へき地医療を経験できる初期臨床研修プログラムの有無【PD】(ある場合は○を、ない場合は×を選択してください。)

セ 医学生へのへき地医療実習等への関与の有無(平成25年度実績)【PD】(関与がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。)

ソ ITによるへき地医療の診療支援の実施状況

タ 在宅医療の取組【PD】(在宅医療の実施もしくは支援を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。)

チ DPCで取得している病院群

へき地医療拠点病院に対する支援内容

(2) 都道府県からのへき地医療拠点病院に対する支援内容について記載してください。

へき地医療拠点病院の代診医派遣等に対して動機付けのためにしている工夫の有無

(3) へき地医療拠点病院の代診医派遣等に対して動機付けのための工夫をしている都道府県は○を、していない都道府県は×を選択してください。【PD】

へき地医療拠点病院の代診医派遣等に対して動機付けのためにしている工夫の内容

(4) (3) で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。

5. へき地診療所について

へき地診療所の現状と実績

(1) 都道府県のすべてのへき地診療所について下記の項目について記載、選択してください。

ア 正式な施設名称

イ 開設者【PD】(以下の選択肢(①～⑦)から選択してください。)

①国立病院機構

②国立大学法人

③地方公共団体

④地方独立行政法人

⑤公的団体(日本赤十字社、社会福祉法人恩賜財団済生会、全国厚生連、社会福祉法人北海道社会事業協会)

⑥医療法人

⑦社会医療法人

ウ 所在地(〇〇県〇〇市)

エ 全病床数(有床診療所のみ)

オ 全医師数(非常勤医師は常勤換算して加算してください。)

カ 現在の常勤医の勤続年数(常勤医が複数名いる場合は各々について記載して下さい。)

キ 一日平均入院患者数(平成25年度実績)(有床診療所のみ)

ク 一日平均外来患者数(平成25年度実績)

ケ へき地医療を経験できる初期臨床研修プログラムへの参加・関与の有無(平成25年度実績)【PD】(参加・関与がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。)

コ 医学生のへき地医療実習等への関与の有無(平成25年度実績)【PD】(関与がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。)

サ ITによるへき地医療の診療支援の活用状況

シ 在宅医療の取組【PD】(在宅医療の実施を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。)

ス 薬剤師が配属されている場合はその人数を記載してください。いない場合は0と記載してください。

へき地診療所に対する施設整備支援の有無

(2) へき地診療所に対し、施設(特に代診医、医学生、研修医等のための宿泊施設等)整備の支援を行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択して

ください。【PD】

へき地診療所に対する施設整備支援の内容

(3) (2) で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。

6. へき地医療に従事する医師のキャリアデザインについて

へき地医療を担う総合医を育成するための後期臨床研修プログラム等の有無

(1) 都道府県内の基幹型臨床研修病院・大学病院等の研修指定病院で、へき地医療を担う総合医を育成することを目的とした後期臨床研修プログラム等がある都道府県は○を、ない都道府県は×を選択してください。【PD】

総合医を育成するための後期臨床研修プログラムの内容

(2) (1) で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。

へき地医療に従事する医師のキャリアデザイン作成の有無

(3) 都道府県あるいは都道府県の関連する大学、病院等が、都道府県の事情等を反映したへき地医療に従事する医師のキャリアデザインを検討、作成している場合は○を、どこも作成していない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療に従事する医師のキャリアデザインの内容

(4) (3) で○を選択した都道府県は、その内容（作成者および対象、具体的内容等）を記載してください。

キャリアデザインの検討のための関係者間協議の有無

(5) 都道府県の事情等を反映したへき地医療に従事する医師のキャリアデザインの検討のために、へき地診療所やへき地医療拠点病院等の関係者間で協議がされている場合は○を、されていない場合は×を選択してください。【PD】

キャリアデザインの検討のための関係者協議の参加者

(6) (5) で○を選択した都道府県は、その協議に参加している関係者を記載してください。

新専門医制度への対応の有無

(7) 都道府県あるいは都道府県の関連する大学、病院等が、都道府県の事情等を反映したへき地医療に従事する医師のキャリアデザインを、平成29年度より開始される専門医制度に配慮して検討、作成している場合は○を、そうでない場合は×を選択してください。【PD】

新専門医制度への対応の内容

(8) (7) で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。

へき地での診療経験を評価する仕組みの有無

(9) へき地での診療経験等を評価する仕組みがある場合は○を、ない場合は×を選択してください。【PD】

へき地での診療経験を評価する仕組みの内容

(10) (9) で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。

子育て、家族支援などの配慮の有無

- (11) へき地医療に従事する医師に対する子育て、家族支援などへの配慮がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。【PD】

子育て、家族支援などの配慮の内容

- (12) (11) で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。

臨機応変な休暇取得できる体制の有無

- (13) へき地医療に従事する医師が産休、育休等臨機応変な休暇を取得できる体制がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。【PD】

臨機応変な休暇取得できる体制の内容

- (14) (13) で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。

へき地勤務に偏らない体制の有無

- (15) へき地医療に従事する医師が、へき地のみ勤務に偏らない体制がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。【PD】

へき地勤務に偏らない体制の内容

- (16) (15) で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。

へき地医療に従事する医師の身分の現状について

- (17) へき地医療に従事する医師の身分の扱いについて研修等で中核病院、大病院等にいる時も含み、具体的内容を記載してください。

7. 医療提供体制について

ヘリコプター搬送について

- (1) へき地医療におけるヘリコプター等の活用の現状について記載してください。(ヘリコプター等は、ドクターヘリ、離島巡回診療ヘリ、防災ヘリ、自衛隊ヘリ等その運行形態は問いません。それぞれについて記載してください。)

8. へき地歯科医療について

へき地歯科診療所について

- (1) へき地歯科診療所を有する場合はその数を記載してください。ない場合は0と記載してください。

第11次へき地保健医療計画におけるへき地歯科医療

- (2) 第11次へき地保健医療計画にへき地歯科医療の記載を行った場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

歯科医師会との協議会

- (3) へき地歯科医療について歯科医師会と協議の場を設けたことがある場合は○を、設けたことがない場合は×を選択してください。【PD】

へき地歯科医療の実態調査

- (4) へき地歯科医療について実態調査を行ったことがある場合は○を、行ったことが

ない場合は×を選択してください。【PD】

歯科医師会と協働による実態調査

(5) (4) で○を選択した場合は、その実態調査が歯科医師会と協働で行われていた場合は○を、行われなかった場合は×を選択してください。【PD】

へき地における小児の口腔状況について

(6) へき地における小児(3歳児)のう蝕について他地区との比較検討を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地における高齢者の口腔問題

(7) へき地における高齢者の口腔問題の現状把握を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地における歯科健診

(8) すべてのへき地で年1回以上歯科健診を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。【PD】

歯科口腔保健推進条例について

(9) 歯科口腔保健推進条例を制定している場合は○印を、していない場合は×印を選択してください。【PD】

歯科口腔保健推進条例制定後の施策について

(10) 歯科口腔保健推進条例制定後に行われたものについて、以下のそれぞれの選択肢について行われたものには○印を、行われていないものには×印を選択してください。【PD】

- ①へき地歯科医療に関する歯科医師会との協議
- ②へき地歯科医療に対する予算的補助
- ③へき地歯科医療に関するへき地を有する市町村との協議
- ④へき地における住民の歯科健康診査事業の推進
- ⑤へき地医療拠点病院やへき地診療所における新たな歯科の開設
- ⑥その他 ()

都道府県職員としての歯科医師

(11) 都道府県職員として採用されている歯科医師について、常勤、非常勤の別を下記から選択してください。【PD】

- ①常勤、非常勤共に採用されている
- ②常勤のみ採用されている
- ③非常勤のみ採用されている
- ④歯科医師は採用されていない

都道府県職員としての歯科医師の勤務施設

(12) (11) で①～③を選択した場合、その歯科医師の主たる勤務施設が、以下のそれぞれの選択肢について該当していれば○を、していなければ×を選択してください。

【PD】

- ①都道府県立病院
- ②診療所
- ③保健所
- ④その他

都道府県職員としての歯科衛生士

(13) 都道府県職員として採用されている歯科衛生士について、常勤、非常勤の別を下記から選択してください。【PD】

- ①常勤、非常勤共に採用されている ②常勤のみ採用されている
③非常勤のみ採用されている ④歯科衛生士は採用されていない

都道府県職員としての歯科衛生士の勤務施設

(14) (13) で○を選択した場合、その歯科衛生士の主たる勤務施設が、以下のそれぞれの選択肢について該当していれば○を、していなければ×を選択してください。

【PD】

- ①都道府県立病院 ②診療所 ③保健所 ④その他

へき地住民の歯科医療への期待

(15) 新たな歯科診療所の開設等に関する住民のへき地歯科医療への要請がある場合は○を、ない場合は×を選択してください。【PD】

9. へき地看護に従事する看護職について

へき地看護の現状調査の有無

(1) へき地診療所、へき地医療拠点病院の看護職（又は看護師・助産師）の現状調査が行われている場合は○を、行われていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地看護の現状調査の項目

(2) (1) で○を選択した都道府県は、その現状調査の項目について記載してください。

(1) で×を選択した都道府県、および、○を選択しても下記の項目についての調査結果を持っていない都道府県は、へき地診療所・へき地医療拠点病院や、へき地を有する市町村に調査をした上で(3)～(6)にご回答ください。

へき地看護に従事する看護職の必要数

(3) 都道府県内のへき地診療所の看護師は何人必要でしょうか。

(4) 都道府県内のへき地医療拠点病院の看護職（又は看護師・助産師）は何人必要でしょうか。

へき地看護に従事する看護職の不足数

(5) 現在、都道府県内のへき地診療所の看護師はあと何人不足しているのでしょうか。

(6) 現在、都道府県内のへき地医療拠点病院の看護職（又は看護師・助産師）はあと何人不足しているのでしょうか。

へき地診療所に対する看護師派遣の有無

(7) 都道府県が関与して、へき地診療所に対する看護師派遣が行われている場合は○を、行われていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地診療所に対する看護師派遣の内容

(8) (5) で○を選択した都道府県は、その内容（関与している組織、病院等や実績）について記載してください。

新人看護職員研修を実施しているへき地医療拠点病院数

(9) 新人看護職員研修を実施しているへき地医療拠点病院の数を記載してください。

へき地医療拠点病院の新人看護職員教育を支援する取組の有無

(10) 都道府県内で、新人看護職員研修を多施設合同で行うなどして、へき地医療拠点病院の新人看護職員の教育を支援する取組が行われている場合は○を、行われていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地医療拠点病院の新人看護職員教育を支援する取組の内容

(11) (10) で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。

へき地看護に従事する看護師に対する研修支援の有無

(12) へき地診療所やへき地医療拠点病院の看護職に対する研修支援（へき地医療支援機構の取組を含む）が行われている場合は○を、行われていない場合は×を選択してください。【PD】

へき地看護に従事する看護師に対する研修支援の内容

(13) (12) で○を選択した都道府県は、その内容を記載してください。

看護職の復職支援のための研修事業の有無

(14) 看護職の復職支援のための研修事業が行われている場合は○を、行われていない場合は×を選択してください。【PD】

看護職復職支援研修事業の実習を受け入れているへき地医療拠点病院数

(15) (14) で○を選択した都道府県は、看護職の復職支援研修事業における実習を受け入れているへき地医療拠点病院の数を記載してください。

看護職復職支援研修事業からへき地看護への従事につながった看護職数

(16) (14) で○を選択した都道府県は、看護職の復職支援研修事業の結果、へき地診療所やへき地医療拠点病院への就職につながった看護職の数を記載してください（平成 25 年度実績）。

10. へき地における薬剤師について

へき地における薬局・薬剤師の実態調査

(1) へき地における薬局や薬剤師の実態調査を行ったことがある場合は○を、ない場合は×を選択してください。【PD】

へき地の薬局数

(2) へき地に薬局がある場合はその数を記載してください。ない場合は0と記載してください。

へき地医療拠点病院からの薬剤師派遣

(3) へき地医療拠点病院から薬剤師派遣（不定期・臨時を含む）を検討したことがある場合は○を、ない場合は×を選択してください。【PD】

薬学部や薬剤師会との協議の場

(4) へき地医療について大学薬学部や薬剤師会と協議の場を設けたことがある場合は○を、ない場合は×を選択してください。【PD】